

平成15年度雑草防除基準に採用した水稻除草剤

水稻用除草剤ワンベストフロアブル(少量散布・初期剤) スマートフロアブル(初期一発処理剤) ダブルスター1キロ粒剤・トレディプラス1キロ粒剤(初・中期一発処理剤)を平成15年度雑草防除基準に採用しました。

これらの除草剤の使用方法和除草効果について紹介します。

新規薬剤の特徴

ワンベストフロアブル・・・使用量が10a当たり300mlの少量散布が可能な初期剤である。3成分混合剤であり、除草効果が高く少量散布のため安価である。

スマートフロアブル・・・移植後3日～ノビエ1.5葉迄の使用で効果の高い初・中期一発処理剤。非SU系除草剤であり、SU抵抗性イヌホタルイに効果が高いベンゾピシクロンを含む剤である。

ダブルスター1キロ粒剤・・・移植後7日～ノビエ2.0葉迄の使用で効果の高い初・中期一発処理剤。2成分混合剤で高い除草効果を示す。

トレディプラス1キロ粒剤・・・移植後7日～ノビエ2.0葉迄の使用で効果の高い初・中期一発処理剤。SU剤抵抗性イヌホタルイに効果が高いクロメプロップを含有する。

表1 防除基準に採用した薬剤の使用方法

区分	初期剤	初期一発処理剤	初・中期一発処理剤	
除草剤名	ワンベストフロアブル	スマートフロアブル	ダブルスター1キロ粒剤	トレディプラス1キロ粒剤
有効成分(含量%)	テルクロール (2.0%) ピラキフェン (15.0%) プロモフェド (10.0%)	フェントサミド (3.7%) ベンゾピシクロン (3.7%) ベンゾフェナップ (14.7%)	フェントサミド (3.0%) ピラキフェン (0.3%)	オキサメトキシ (0.8%) クロメプロップ (3.5%) ピラキフェン (1.4%)
使用時期	移植直後～5日 (ノビエ1.0葉期迄)	移植後3～10日 (ノビエ1.5葉期まで)	移植後7日～12日 (ノビエ2.0葉期まで)	移植後7日～12日 (ノビエ2.0葉期まで)
10a当り使用量	300ml	500ml	1kg	1kg
処理方法	原液湛水散布	原液湛水散布	湛水散布	湛水散布
人畜毒性	普通物	普通物	普通物	普通物
魚毒性	B類相当	B類相当	A類相当	A類相当

表2 基準に採用した薬剤の選択殺草性と殺草幅

商品名	残効期間(日)	一年生雑草			多年生・その他雑草							特記事項		
		ノビエ	タマガヤツリ	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミスガヤツリ	ヒルムシロ	藻類・表層剥離	クログワイ		オモダカ	シズイ
ワンベストフロアブル(少量)	15	1.0葉				発生始	-	-	-	-	-	-	-	
スマートフロアブル	40	1.5葉				1.5葉		1.5葉		-	-	-	-	
ダブルスター1キロ粒剤	40	2.0葉				1.5葉	1.5葉	1.5葉	発生盛	発生前	-	-	-	セリにも卓効
トレディプラス1キロ粒剤	40	2.0葉				1.5葉	発生始	1.5葉	発生盛	発生前	-	-	-	セリにも卓効

凡例 著効(効果極大の中でも、殺草力、残効が特に著しいもの)、効果極大、効果大、効果中、効果小、×効果なし、-未確認

注1. 表中の1.5葉・2.0葉等は殺草幅を示し、ノビエ1.5葉は、圃場内で最も生育の早いノビエが1.5葉期になるまでに使用すると効果が高いことを示す。